

第18回 複合型サービス ひと息の村 運営推進会議議事録

日時 平成28年 4月 5日(火) 14時～

場所 ひと息の村 相談室

(参加者)

木原 和人氏 (宮前老人クラブ会長)
霍田 陽吉氏 (北校区民生委員)
大澤 哲夫氏 (宮前・北町区民生委員)
上村 真弓氏 (利用者家族)
岩本 睦美氏 (行橋高齢者相談支援センター)
矢津 久美子 (矢津クリニック)
白川 美弥子 (ひと息の村 訪問看護ステーション 管理者)
余村 徹 (複合型サービス ひと息の村 管理者)
池本 直宏 (複合型サービス ひと息の村 計画作成担当者)

議事次第

- 1、 第17回運営推進会議 議事録の確認
- 2、 利用状況についてお知らせ
平成28年 2月 1日～平成28年 3月30日までの利用状況、報告

【登録利用者数】 13名 (3名入院中 4月1日時点)

男性	女性
3 (2) 名	10 (8) 名

【要介護度】 平均介護度 2.9 (2.5)

要介護1	4名
要介護2	2名
要介護3	2 (1) 名
要介護4	1名
要介護5	4 (2) 名
区変中	0名

【圏域】

行橋高齢者	6 (4) 名
長峽高齢者	2 (1) 名
今元高齢者	1 名
中京高齢者	2 名
泉高齢者	2 名

【平均年齢】 81.5 (83.6) 歳

【病状内訳】

- ・ DM・・・2 名 ・多系統委縮症・・・1 名 ・アルツハイマー・・・1 名
- ・ 廃用症候群・・・1 名 ・ COPD・・・1 名 ・喘息・・・1 名
- ・ 筋委縮性側索硬化症・・・1 名 ・腎不全・・・2 名

(入院中)

- ・ 若年性アルツハイマー・・・1 名 ・副鼻腔アスペルギルス症・・・1 名
- ・ アルツハイマー・・・1 名

【状況】 2 月・3 月平均

	日	月	火	水	木	金	土
通い	2.9 人	6.7 人	5.3 人	5.9 人	8 人	6.4 人	7.6 人
訪問	1.4 件	0.8 件	0.4 件	1.2 件	0 件	1.1 件	2.3 件
泊り	1.9 人	0.9 人	1.1 人	1.2 人	1.1 人	2 人	1.9 人

4 月予定 《10 名 4 月 1 日現在》

	日	月	火	水	木	金	土
通い	2.5 人	6.5 人	5 人	5.5 人	7 人	4.6 人	6.6 人
訪問	1 件	1 件	0 件	2 件	0 件	3 件	2 件
泊り	1.5 人	0.3 人	0.5 人	0.5 人	0 人	1.6 人	1.6 人

3、近況状況

* 2/3 運営推進会議

* 2/7 肺がん患者永眠 (1/29～利用)

* 2/13 死の臨床 (福岡国際会議場)

* 3/1 新規 (喘息) 利用開始 (90 歳 介 3)

- * 3/3 新規（アルツハイマー）利用開始（103歳 介1）
- * 3/9 院内研修（C-PAPについて）
- * 3/12 多職種交流会（門司先生講演会）
- * 3/14 小規模多機能におけるケアマネジメントに関する講演・演習
- * 3/15 ケアマネ連絡協議会
- * 3/20 在宅ホスピスフェスタ（アクロス福岡）
- * 3/30 院内研修
- * 吸引研修終了（H27年度）
- * 感染症

4、4月、5月の行事予定

- 4/6（水）久留米 施設見学
- 4/15（金）通所連絡協議会
- 4/24（日）ひと息の村ホスピス祭り
- 5/3（火）宮前区祭り
- 5/14（土）星の会
- 避難訓練

5、次回の開催について

次回 6月1日（水） 14時～

(意見交換)

余村：「避難訓練の日程や内容がまだ決まっていますので、日時が決まりましたら、また老人会にもお知らせしますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

また、気候がよくなってきたので、外出レク等も臨機応変に出来ればと考えています。先日の日曜日にも、通いの利用者さん 3 名ですが、現地でご家族と待ち合わせをして、行橋の桜祭りに参加して来ました。」

霍田氏：「ロームの近くや、今川上流の犀川あたりも、花が綺麗に咲いていますね。利用者さんも喜ばれると思います。

しかし、利用者さんが減少していますが・・・」

余村：「何か良いシステムみたいなものがあれば良いのですが・・・」

霍田氏：「地域の交流の場というか、コミュニティーセンターみたいな所から、利用者さんが来てもらえる流れみたいなものがあればいいと思うのですが・・・」

上村氏：「前回市報にひと息の村が掲載されましたが、反響はありましたか？」

余村：「電話での問い合わせが 2 件くらいでした。それもサービスの利用には繋がりませんでした。もっと反響があると思っていたのですが・・・」

霍田氏：「民生委員の協議会でも時間をとって、看護小規模多機能の説明をしていただく事も出来ます。」

上村氏：「まずは通いサービスを使ってもらって、それから医療や泊りの事をもっとアピールしても良いと思います。市報には、通いサービスの事は、あまり前面に出ていなかった様に感じました。」

霍田氏：「上村さんと同感です。今日も病院に薬を取りに行きました。今は自分で行けますが、動けなくなったら介護保険申請しないとどうしようもない。医療には大体の高齢者がお世話になっています。そこに介護がプラスされて・・・、そういう人たちが集まって、話が出来るといったものが出来れば・・・と思います。

行橋市も、今度生活支援協議会というのが始まるらしいです。コーディネーターをどうするかが問題みたいですが・・・。実際幾つかの介護事業所で、地域コミュニティーセンターみたいな所を借りて、コッ

コツと活動している所もあるみたいです。看護小規模多機能は別として、小規模多機能は市の支援を受けながら、地域の人たちが集えるスペース、拠り所、交流の場を作りつつあるみたいです。」

岩本氏：「中京高齢者相談支援センターの中京校区の“おとぎの里”で、地域交流ステーションが、そこの方だけではなくて、地域の方や、行橋全体のどこでも利用できます。但し、そこまでは自分で行かないといけませんが……。一週間に一回、そこで運動したり体操をしたり……。そこには高齢者相談支援センターも参加しています。あとは、だんだん自主的に活動していくのですが、各校区でそういった活動をだんだん広げていくと思います。要支援の方は、週一回位しかデイサービスを利用出来ないですよね。いきいきサロンもあるのですが、そういったところにも参加されない方、行き場のない方、人との交流の場がない方の為にそういう場を作って、なるべく出てきていただく場を提供するようにしています。」

霍田氏：「市内のいきいきサロンでも、参加されているのは女性が多い。男性に参加してもらうには、役割を与えないと出て来ないですね。」

余村：「ボランティアさんもそうです。役割がないと、男性の場合はなかなか参加してもらえないですね。」

大澤氏：「先日会議があったので、ひと息の村を知っているか、参加者に聞きました。そうすると、あそこは癌になったら相談に行くところですよ？と回答がありました。これではいけないと思いました。6月9日にまた会議がありますので、そこでひと息の村についてお話しさせて頂こうと思っています。近くにこんな素晴らしいところがあるのに、是非知って下さい……と。」

上村氏：「やはり通所サービスから知って貰わないと……。そういった事に興味があるのは、やはり年配の方なので、年配の方にも分かり易い言葉で、市報でも発信してもらえたら……と思いました。でも、立派な市報が出来たと思いますよ。」

霍田氏：「5月の第一月曜日に、北公民館へ高齢者相談支援センターに来てもらって、民生委員も加わっての会議があるので、その中で看護小規模多機能の説明をしてみたらどうでしょうか？また追ってお知らせしますので。」

上村氏：「何か月かに一回でも、地域の人に場所を解放して、地域の人に協力してもらいながら、自由に食べ物や飲み物は持参してもらって、雑談する場を提供してみてもどうですか？出掛けて行ってお話することもいいでしょうが、まずひと息の村の中に入ってもらって、そうすることで身近になるのではないのでしょうか？独居の人たちが集まって、こういったところで話が出来るのが良いと思います。」

池本：「入居の方もいらっしゃるので、そのところは院長に確認してからになると思いますが・・・」

霍田氏：「ひと息に入る時は、どうしてもオートロックを毎回毎回解除してもらわないといけない。そこをどうやってクリアーするかも問題だと思います。」

池本：「方法は色々あるとは思いますが。例えば日曜日など利用者の少ない時に、通いスペースを使って、地域の方に開放したサロンのなものとするか・・・。いずれにしても、院長に確認してからの話にはなるとは思います・・・。」

上村氏：「実るかどうか分かりませんが、とりあえず種を蒔いてみないとわからないですね。実行してみないとですね。」

余村：「池本がメインになって、近隣の病院の連携室に営業には行っていますが、サービスにはまだ繋がっていない状況です。」

霍田氏：「癌で家族を亡くしたという経験者が、緩和ケアをして頂ける場所があるというのは幸せだと思います。都市部でも緩和ケアとありますが、大病院よりは、こじんまりした中でこそ、家族的なケアが出来るのではないかと思います。」

余村：「地域での独居の方は、現在どれくらいいますか？」

霍田氏：「宮前では、あるところからずっと増えて、60世帯くらいです。10年前に比べて、3倍くらい増えています。北区では560世帯くらいあります。」

大澤氏：「病院は死ぬ所ではなく、治療をする所。自宅に戻って、自宅でどうするか・・・という事を考えなくてはいけないと思います。そういった話をさせてもらう機会がありました。次回6月9日に、その続きをさせて頂こうと思っています。」

余村：「色々な場所での広報、ありがとうございます。引き続き、宜しくお願い致します。」

以上